



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

Rotary International

週報

— さあ、今こそ我等の出番だ —

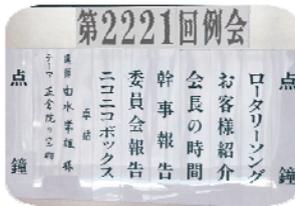
2011~2012 年度 会長 濱仲 幸弘

Vol46 No.33 平成 24 年 3 月 6 日

第2221回 例会報告 — 3月6日 —

本日の司会

照木 SAA 委員長



国家斉唱

『君が代』

○ソングリーダー:小椋会員

ロータリーソング

『奉仕の理想』

四つのテスト唱和

お客様紹介

濱仲 会長

○由水常雄様

(国立台湾芸術大学客員教授 箱根ガラスの森美術館顧問)

会長の時間

濱仲 会長

3月2日、国分寺市に放射能測定器を2台寄贈してきました。国分寺市役所からの要望という形で寄贈させていただきましたが、現在市報で発表している各地の放射能測定値を計る機械と同じものです。購入資金を提供するということになると、実際に手にするのは大分先になるということで、現物を用意し、市長に手渡してきました。今後は、市民への貸出用として使われるそうです。市報に貸出し要領などが発表されれば、かなりの需要が見込まれます。危惧するところは、これがために市民に余計な不安を煽る結果にならなければ良いということです。東日本大震災に関して、国分寺RCとして義援金を送った以外、現地と直接アクセスして何か行動を起こすという事はしていませんでした。しかし、立川こぶしRCからの協力要請に便乗した形になりますが、宮城県塩釜市浦戸フェリー事業に対して、支援金を送ることになりました。といっても、国分寺RCから新たな持ち出しをするわけではなく、地区の基金を利用できる権利を行使するという形になります。文字通り、孤島となっている塩釜市沖合の島々への「足」となることを期待しております。次は、残念なニュースです。日立中研の川畑さんが転勤となりました。4月1日付で横浜研究所の方に移られることになりました。まあ、いつかはあることだと覚悟はしていた



のですが、転勤直後で後任も紹介されない状態で、観桜例会を迎えなければなりません。また、5月に予定している親睦旅行も詰めの作業が残っています。バンコク世界大会も、現地駐在経験が豊富な川畑さんのアドバイスを期待していたのですが、これも残念です。しかし、新天地でのご活躍をお祈りしています。

幹事報告

高橋 幹事

①3月1~2日に2012/13年度会長エレクト

トセミナーがあり、関口会長エレクトが出席

しました。②3月9日(金)に2012/13年度第

1回社会奉仕委員会があり、近藤会員が出

席予定です。③3月29日(木)東京武蔵国分

寺RCとの親子合同ゴルフコンペを開催予定です。詳細は後日お

知らせします。ご時間のある方は是非参加をお願いします。④今

日の理事会で三松会員の3月いっぱい免除申請、丸岡会員の

8月末までの免除申請が出され、承認されました。⑤3月2日

(金)に国分寺市長に放射能測定器2台を贈呈して参りました。

⑥東日本復興支援として、宮城県塩釜市浦戸フェリー事業に対し

て国分寺RCとして支援することとなりました。このプロジェクト

は、塩釜RCを中心として、2520地区のRCの方々をサポートし

ていく予定です。フェリーのどこかに協賛団体のプレートが掲示さ

れるということです。⑦東京武蔵国分寺RCの20周年記念事業

に関して、登録料が15,000円になっております、全員登録させ

て頂きたいと思いますが、個人負担は10,000円、クラブ負担

5,000円とします。これは、理事会の方で承認頂きましたので、

来週以降10,000円集めさせていただきます。



委員会報告

出席委員会

手塚 委員

会員数: 39名 免除: 8名

メーキャップ済み: 0名

欠席: 3名 出席率: 90.3%

◀ 前々回の訂正 ▶ なし



ニコニコボックス

川畑親睦委員長

濱仲会長・高橋幹事：3月になり暖かくなってまいりましたが同時に花粉症の季節でもあります。どうぞご自愛下さい。近藤会員：おかげ



様で満38年間皆勤でロータリー・ライフを過ごすことが出来ました。会員の皆様の友情と自身の健康に感謝してニコニコ致します。倉島会員：卓話講師由水常雄様を歓迎して、ニコニコします。関口会員：会長エレクトの絶対義務でありますPETに3月1日から2日に掛けて参加してきました。1日目は、座りっぱなしで聞くだけの講座で、お尻が痛いだけの辛い一日でしたが、宿泊したお陰で武蔵国分寺RC会長エレクトの井口さんと気分転換が図れたので、無事に2日目を迎える事ができました。2日目は、「会長の役目」「奉仕活動について」「会員増強について」の三分科会があり、考え方の相違についてとても参考になりました。2日間、我慢したお陰で、仮免許証であります会長エレクト講習終了証を受領することが出来ましたのでニコニコ致します。

3月の記念ニコニコ



谷田会員
小椋会員
内田会員

卓話

○卓話講師の紹介：倉島プログラム委員長

講師の紹介を致します。由水常雄様は1936年徳島県生まれ、都立新宿高校卒業、早稲田大学博士課程終了、1968年から2年間プラハ大学でガラス工芸史を専攻、その後、日本の多数の大学の講師を歴任、国立台湾芸術大学客員教授、等を歴任。個展として、パリ、ハンブルク、ニューヨーク、日本各地で何度も開かれています。テレビ出演も多数あります。著書も多く、「ガラスの話」「世界ガラス美術全集」「正倉院の謎」「ローマ文化王国—新羅」「ガラス入門」「トンボ玉」「正倉院ガラスは何を語るか」など多数あります。現職は、(有)能登島ガラス工房会長、箱根ガラスの森美術館顧問、石川県能登島ガラス美術館専門理事その他、多彩な経歴を持っておられまして、今日は「正倉院の宝物の謎」を話していただきます。



○卓話：「正倉院の宝物」由水常雄様

今日、お話しする正倉院は、東大寺にある倉庫なのですけれども、その倉庫を造ったのは、聖武天皇で、丁度、国分寺を全国に造られたご本人です。その人に関係ある宝物を



最初にこの蔵に入れたのは、光明皇后であります。今、スライドで写っているのは、東大寺の大仏殿で、この大仏殿の手前の方に細長い建物が見えますが、これが正倉院です。大仏殿は何回も戦争などのために、燃え尽きましたけれども、この蔵はどういう訳か、一度も戦火にあつたことがないのです。創建当時のままの形で建物があります。そのお陰でこの中にある宝物類が全然、燃えることなしに、今日まで伝えられています。この宝物の最初は、聖武天皇が宮中でお使いになつておられた宝物類を、天平勝宝8歳6月21日、聖武天皇の七七己に光明皇后が、約650点と約60種の薬物を、この大仏さんの蔵に奉納されました。この蔵は大仏殿の横の方にはありますが、現在は空っぽで、近くにあるコンクリートの建物に安全な状態で保存されています。現在、数は約1万点ありますが、光明皇后が納められた点数より、宝物はその後、ずっと増えて行きました。当時の物は4分の3位なくなつてしまい、当時の物で残っているのは、4分の1位です。その代わりに年を追うごとに、宝物がどんどん増えて来ました。実は、その増えて来た宝物の中に、各時代の日本の歴史を反映した宝物がこの蔵の中に入っています。それは、それぞれの時代に奉納されて増えて来た訳です。大仏さんが何度かの戦火にあつて焼失してしまいましたので、それを再建した時に、そのお祝いに、いろんな国から奉納されました。一番大きかったのは、鎌倉時代の源平戦争で、それを復興した時に、外国から随分、宝物類が日本に献上されていました。そのときに正倉院の宝物が増えた訳です。こういったケースが何回かありまして、減って行くものもありましたが、増えるものはどんどん増えていきました。その増えて行った中に、各時代の歴史が反映されています。正倉院の建物は、両サイドが校倉造りで真ん中が板張りになっています。なぜ真ん中だけが板張りなのかと云うと、実は最初は真ん中は空っぽでしたが、その後、宝物が増えて行ったために、ここを板張りで塞いで、それで三つの蔵になった訳です。スライドで、ここに納められているものを紹介して頂きました。「勅封」また「東大寺献物帳」についてお話があり、この献物帳と呼ばれる文書には、リストが記されております。この中に大量にあるのは、武器、甲冑類、これは、全体の3分の2くらいです。その他そこに納められている薬、屏風類、鏡類、楽器類、物差し、椅子、ベット、枕などについて、詳細に、お話をさせて頂きました。これらの宝物類はみんな大きな「からびつ」に入れられ、それに全部符帳が付けられています。その中に入れられた宝物類が分るようになっていますが、何故か、そこに入れたのに中味が入れ替わっていたと云うことがあります。また盗まれたものもあります。このような、興味のある話をして頂きました。

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

東京国分寺ロータリークラブ

会長 濱仲 幸弘 幹事 高橋 正典
会報委員長 小向 将介 副委員長 山内 千枝

事務所・例会場 東京都国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8階
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町3-8-12 Tel.042-320-5601

URL: <http://www.tokyokokubunjirc.org/>